

猫たちの命を救うために

「猫だらけ」な店内 小野金商店の保護猫活動



店内にあるハンドメイド猫雑貨
(売上的一部分は保護猫活動に使われる)



北瓦ヶ町にある小野金商店（外観）

北瓦ヶ町に店を構える小野金商店。扉を開けると古風な雰囲気の店内に県内外の作家さんが作ったハンドメイド猫雑貨がずらりと並んでいる。この猫好きにはなんともたまらない「猫だらけ展」を開いている店主の小野香（おのかおり）さんは、弘前市で保護猫活動を行っている。

元々猫好きで、気付

いたときには子猫の保護から始まってい

たというこの活動は

今年で10年目とな

る。現在は数名のボラ

ンティアの方々と共に

猫の保護・譲渡などを行っている。また、3年前の8月からは、「市と猫の殺傷処分ゼロを目指す街づくり」のための署名活動も行い、多くの猫たちの命を救うため、日々奮闘している。

猫たちが新しい家族のもとで幸せいになるまで



取材先
小野金商店
「猫だらけ展」

小野さんの→
飼い猫のジローくん

〈譲渡までの流れ〉



店内奥にある里親募集のチラシ

小野金商店では、次のような流れで譲渡を行っている。はじめに、保護した猫の里親募集を店内でのチラシ掲示やSNSで行い、譲渡希望者を募る。譲渡希望者が見つかったら譲渡希望者の家へ実際に赴き、猫が飼える環境であるか、先住猫がいる場合には先住猫との相性、ワクチンや避妊去勢手術費などどのくらいお金が掛かったかなどについてお話をします。

その後、猫を迎えるための準備が整ってからトライアルと呼ばれる、保護猫のお試しの迎え入れを行う。その間は、一週間ごとに電話で確認を行い、必要に応じて譲渡希望者宅へ訪問する。

今は新しい飼い主の元で幸せに暮らしているという活動にも力を入れている。小野さんによれば、2年前に高齢の飼い主に先立たれて取り残された9匹の猫たちがいたという。この猫たちは、保健所へ連れて行かれる手前で運良く預かる方が見つかり、今は新しい飼い主の元で幸せに暮らしているとい

うが、猫の命を守るために、自分に何かあつた際の飼い猫の行き先をきちんと決めておく必要がある。また、殺処分を実行しなければいけない保健所の職員や獣医の方々の苦しみがあることも忘れてはいけない。猫たちとこのような方々の苦しみをなくすために、殺処分ゼロが目指される。

殺処分ゼロを目指して

現在、小野さんは、高齢者も猫も幸せになるための活動にも力を入れている。小野さんによれば、2年前に高齢の飼い主に先立たれて取り残された9匹の猫たちがいたという。この猫たちは、保健所へ連れて行かれる手前で運良く預かる方が見つかり、今は新しい飼い主の元で幸せに暮らしているとい

うが、猫の命を守るために、自分に何かあつた際の飼い猫の行き先をきちんと決めておく必要がある。また、殺処分を実行しなければいけない保健所の職員や獣医の方々の苦しみがあることも忘れてはいけない。猫たちとこのような方々の苦しみをなくすために、殺処分ゼロが目指される。

小野さんは、この活動を始めてから10年間で、約150匹の猫を保護・譲渡した。今後は、地域住民と行政と保護猫ボランティアさんとの横つながりで殺処分ゼロを目指したいとしている。

命と向き合う大変な活動である保護猫活動の現状や、この活動によつて救われる多くの命があることなどを、この記事を通して少しでも知つても

佐藤麗香

ミルクやりボランティアに参加！

5月28日、私はミルクやりボランティアに参加させていただいた。初めてのことでも緊張したが、小野さんにやり方を丁寧に教えていただき、離乳食を

食べさせることができた。運動タイ

ムに色々な方向に走り回る2匹を見

守るのは大変だったが、とても楽しい

貴重な体験をさせていただいた。興味

がある人は、参加してみてはいかがだろうか。



小野さんの
飼い猫の
くまこさん